

議決議案 ダイジェスト

予算関係

【平成21年度】

- 一般会計補正予算（第7号）
7,151万円を増額。総額71億9,953万円。
- 国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）
1億7,033万円を増額。総額26億9,756万円。
- 介護保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）
1,990万円を増額。総額15億134万円。
- 簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）
80万円を減額。総額8,893万円。
- 漁業集落排水処理事業特別会計補正予算（第3号）
555万円を減額。総額1億8,948万円。
- 公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）
22万円を減額。総額4億6,473万円。
- 一般会計補正予算（第8号）
3,000万円を増額。総額72億2,953万円。

【平成22年度】

- 一般会計と特別会計など総額126億円の当初予算が決まりました。
- 一般会計補正予算（第1号）
3,600万円を増額。総額72億2,367万円。

一般議案

- 財産（土地・建物）の取得
旧県立山田病院の土地・建物を公共の用に供するため買入れおよび譲り受けにより取得しました。
- 財産（土地）の取得
船越家族旅行村用地として土地を取得しました。
- 上野辺地に係る総合整備計画を定めること
上野辺地におけるテレビ地上デジタル放送共聴施設の新設事業に対し、国から財政上の特別措置を受けるため、総合整備計画を定めました。
- 山田町の辺地に係る総合整備計画の変更
テレビ地上デジタル放送共聴施設改修に係る事業費を増額変更しました。

諮問

- 船越漁港区域内の公有水面埋立免許出願に基づく諮問
漁港整備長期計画に基づき、岩手県が広域漁港整備事業により漁港施設を造成するため、埋立の許可が出願され、可決されました。
これにより、漁業者が広がった岸壁を有効に活用できることになり、漁船からの水揚げ作業の円滑化・効率化が図られることとなります。埋立区域の位置などは次のとおりです。
【位置および敷地造成面積】 山田町船越第13地割104番地、110番地および第16地割65番地の地先水面、面積1,338.43平方[㎡]。
【内容】 漁港施設の敷地造成および上屋設置。
【実施期間】 着手の日から平成25年3月31日までの間。

平成22年2月28日で任期満了となる農業委員会委員の議会推薦委員2人を決定しました。議会が推薦する農業委員数については、現在の社会情勢などを考慮し、前回と同じ人数の2人と決定しました。
委員として決定した2人は次のとおりです。
中村光雄さん（織笠）
斎藤みつ子さん（荒川）

農業委員会委員 2人を議会推薦

容は、より効率的で住民が親しみやすい組織を目指し、12課制を14課制に再編するものです。
財産の取得については、町立小・中学校教員の校務の負担軽減などのために情報化を促進し、教育の質の向上を図るため、コンピュータを購入するものです。このことなどに伴う財源の増減が一般会計補正予算として提出されました。

条例関係

- 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
労働基準法の一部改正に伴い、関係条例の整備を行いました。
- 山田町漁港管理条例の一部を改正する条例
漁港施設の占用料の額を減額するため、関係条例の整備を行いました。

人事案件

- 人権擁護委員の候補者を推薦
人権擁護委員の候補者として貫洞征功さん(65)＝飯岡＝(再任)を推薦しました。
同委員は、人権相談や人権思想の普及・啓発などを行います。



貫洞征功さん

議員発議

- 山田町議会の議員の定数を定める条例の一部改正
議員の定数（現行18人）を16人とする議員発議がなされ賛成多数で可決されました。この条例は、次回の一般選挙より適用されます。
- EPA・FTA推進路線の見直しを求め日米FTAの推進に反対する意見書
食糧を外国に依存することなく、40%程度に過ぎない食料自給率を向上させる方向に踏み出すよう求めるものです。
- 後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書
後期高齢者医療制度を速やかに廃止し、安心して必要な医療が受けられるよう求めるものです。

教育用コンピューターを購入

第1回臨時会

第1回臨時会が2月3日に開かれました。町からは、行政組織改革に伴う関係条例の整理に関する条例や財産（動産）の取得、一般会計補正予算が提出され、審議の結果、原案のとおり可決されました。
今回の行政組織改革の内